

基本目標1

子育て・子育てを応援する制度の充実
～家庭の子育て・子育てを応援するまちづくり～

施策番号		施策の方向性	施策としての到達度			
			(外部要因も含めた総合的な評価)			
			目標到達 概ね期間内 に目標到達 見込み	目標到達に 課題を残す	目標到達に 重大な課題 を残す	
①	相談・支援体制の拡充	■	□	□	□	
②	在宅育児応援サービスの継続	□	■	□	□	
③	子育ての経済的負担の軽減	■	□	□	□	
④	地域子育て支援拠点の充実	■	□	□	□	
⑤	教育・保育事業の充実	□	■	□	□	

【主な事業内容】

- ◎ (事業名)子育て相談・支援体制整備事業
子育てに関する総合的な支援の中核施設として開設した、飯田市こども家庭応援センターは通年開所となった。発達支援と児童虐待対応の機能のほか、教育相談、就学相談の機能を有し、関係する専門機関へつなげることで、その後の支援に努めた。相談受付936件(養護、障害、育成相談)
- ◎ (事業名)ファミリーサポートセンター事業
家庭での育児を支援するため、支援を必要とする人と支援できる人が互いに助け合い、地域の子育て力を高める一助になっている。利用料金について、低所得者に対して利用しやすい単価の設定や負担軽減策を実現するため情報収集を開始し検討を行った。協力会員の増員に向けて広報等により周知に努めた。
- ◎ (事業名)地域子育て支援拠点事業
子育てを行う中で、社会からの孤立感や子育ての行き詰まり防止、育児に対する学びの場、情報交換や育児相談の場として日常的に集う子育ての地域拠点事業。市内に常設型として10カ所、出張型2カ所(増設1)にて運営。子育てアドバイザーによる定期的な情報交換会・研修会を開催しスキルアップにつなげた。また、座光寺つどのひろばは指定管理者制度を導入したことにより、利用者ニーズに沿った工夫された運営がなされている。

【取り巻く状況の変化等】

- 幼児期における質の高い教育・保育の総合的な提供や保育の量的確保を実施する中で、1号2号認定ではそれぞれ希望どおり入所できているが、3号認定においては第1希望の施設に入所できない場合がある。
- こども家庭応援センターの開設及び子育て支援ネットワーク等連携強化により、子どもに関する相談件数の増加、また、子育ての不安や養育が困難な家庭に対しての養育支援家庭訪問が増加傾向にある。

基本目標2

子どもの発達と親子の健康の確保及び増進
～子どもの発達と親子の健康を支えるまちづくり～

施策番号		施策の方向性	施策としての到達度			
			(外部要因も含めた総合的な評価)			
			目標到達 概ね期間内 に目標到達 見込み	目標到達に 課題を残す	目標到達に 重大な課題 を残す	
①	一貫した発達支援体制の整備	■	□	□	□	
②	食育活動の推進	□	■	□	□	
③	子どもの医療費助成の拡充	■	□	□	□	
④	子育ての学び合いの推進	□	■	□	□	

【主な事業内容】

- ◎ (事業名)途切れない発達支援体制整備事業
庁内関係部局と市立病院等により構成された飯田市発達推進会議を開催し、より一貫した支援体制の整備に向け協議を開始した。また、幼保小の連携により、子どもの発達課題に対する早期支援につなげるための個別の指導計画を作成することにより、子どもの発達課題に対する早期支援につなげた。
- ◎ (事業名)子ども医療費給付事業
医療機関に支払った自己負担額を助成する子ども福祉医療給付は、受給対象者を中学3年生から高校3年生(18歳の年度末)までに拡大した。
- ◎ (事業名)乳幼児学級及び乳幼児教育支援事業
保護者の子育て学習の場として、乳幼児学級を各地区で実施。乳幼児をもつ保護者や、転入したばかりの家庭などが「孤独な子育て」に陥らないよう、保健師の家庭訪問や子育て情報誌、乳幼児学級の機会を通じて、地元の子育て家庭同士の交流を実施した。(全20地区)

【取り巻く状況の変化等】

- 産後ケアの支援として、授乳・育児相談助成事業を実施し、産後の心身の健康等について助産師へ相談しやすい体制を整えた。また、不妊・不育に関する相談日を開設し、専門相談員が検査や治療についての情報提供を開始した。

基本目標3

子どもが健やかに成長するための環境整備
～子どもの育ちを支える教育・健全育成のまちづくり～

		施策としての到達度			
		(外部要因も含めた総合的な評価)			
施策番号	施策の方向性	目標到達	概ね期間内に目標到達見込み	目標到達に課題を残す	目標到達に重大な課題を残す
①	放課後子どもプラン推進事業の拡充	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②	子どもの「居場所づくり」の推進	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③	地域力による子育ての応援の推進	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

【主な事業内容】

- ◎ (事業名)放課後子どもプラン推進事業
竜丘児童センター第2を開設し定員増に努めた。これにより児童クラブ数は26カ所により実施。放課後子ども教室は、丸山・竜丘・下久堅・追手町・座光寺小学校において運営し体験学習や地域住民と交流を行った。
- ◎ (事業名)乳幼児ふれあい体験事業
地元高校生と乳児とのふれあい体験を実施。母子保健学習や子どもと関わる喜びなどを体験する機会を設けた。高校5校(新規1校)により、生徒118名の参加があり8回実施した。また、すべての中学校においても実施した。

【取り巻く状況の変化等】

- 地域の大人と子どもたちとのつながりの中で、困難を乗り越え自立する力をつけてもらうための、「子どもの居場所づくり」モデル事業を県から受託して行った。学習支援、食事提供、悩み相談などの機能・役割を持つ場として取り組みが行われた。参加人数は延べ660人(小学生380人、中学生280人)

基本目標4

仕事と家庭生活の両立の推進
～子育てと仕事の両立を支えるまちづくり～

		施策としての到達度			
		(外部要因も含めた総合的な評価)			
施策番号	施策の方向性	目標到達	概ね期間内に目標到達見込み	目標到達に課題を残す	目標到達に重大な課題を残す
①	親の働きやすい環境づくりの推進	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②	仕事と家庭生活の調和を図る「ワークライフバランス」の推進	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

【主な事業内容】

- ◎ (事業名)病児・病後児保育事業
病気の回復期(又は回復)に至っていないことから集団保育が困難な児童で、かつ、保護者が勤務等の都合により家庭での保育が困難な園児・児童を預かる事業で健和会病院に委託。利用者は931人であるが、病気の流行により利用者数は左右される。
- ◎ (事業名)ワーク・ライフ・バランス推進事業
仕事と家庭の両立に取り組むためには、家庭、事業所、行政が一体となって取り組むことが必要であるが、特に事業所の理解が必要となってくる。子育てに限らず、女性活躍、介護、人材確保など広範囲に亘るため経営者、担当者向けのセミナーを開催。一般向けとして、安心して働くために知っておくこと、行政サービス等について開催したが、今後も更なる広報や啓発活動を実施する必要がある。

基本目標5

地域のみんで支えあう子育て・子育ての推進
～子どもや子育て家庭にやさしいまちづくり～

		施策としての到達度			
		(外部要因も含めた総合的な評価)			
施策番号	施策の方向性	目標到達	概ね期間内に目標到達見込み	目標到達に課題を残す	目標到達に重大な課題を残す
①	地域のみんで支えあう子育て・子育ての推進	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②	地域の連携による子育て応援の推進	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③	安全安心のまちづくりの推進	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

【主な事業内容】

- ◎ (事業名)親・市民・地域・事業者等が自ら子育て・子育てを応援しようとする(むとす)事業
男性の育児参加を促す事を目的として、子どもの成長段階に沿った子育てのヒントを掲載した育児応援ハンドブック「いいだパパナビ」を発行した。みんなで子育て応援サポーター会議(一般公募)が主体となり、企画・編集を行う。妊娠期から出産後の子どもの成長段階に応じた内容とした。仕事と家庭を両立し家庭育児に参加するための各種情報を掲載している。